



東 陵

発行日 平成29年6月14日

発行者 校長 谷口 典子

教育目標：豊かな知性と心を持ち、たくましく未来を生き抜く児童の育成

あいさつ運動

6月5日から6月9日までの一週間、中海中学校の生徒が東陵小学校の玄関前に立ちあいさつ運動を行いました。東陵小学校出身の中学生が毎日来てくれました。背も高くなり、制服を着ていると本当にお兄さん、お姉さんらしくなったなと感じました。あいさつ運動に関しては、昨年度東陵小学校児童会は「Smile Heart Award」という表彰を小松市教育委員会より頂きました。これも、中海中学校・中海小学校と連携してあいさつに取り組んだ成果と聞いています。

あいさつは、人とつながるための第一歩です。あいさつを交わすことで、お互いの距離がぐっと縮まると思います。元気に、大きな声であいさつするとあいさつした方もされた方も、気持ちがほんわかとしてきます。あいさつには不思議な力があるようです。

さて、あいさつ運動が行われた一週間ですが、子ども達はお互いに恥ずかしさもあったようで、大きな声であいさつできた子もいましたが、中学生の前を走るように通り抜ける子もいました。中学生もちょっと照れたような顔も見せていました。でも、少し慣れてきた頃には、自分から中学生に話しかけにいく子どもたちの姿もみられました。これからもあいさつだけでなく、様々な取組の中で小中連携を進め、9年間を見通して子ども達を育成していきたいと思います。



教育実習生として・・・

6月5日（月）から6月30日（金）まで養護教諭になるための教育実習のために希望ヶ丘町の、坂下こころさんが東陵小学校に来ています。今は、各クラスで給食を食べています。そのうち3，4年生で保健指導の授業を行う予定です。

6年生によるモデル授業

4月に5年生が授業の規律についてのモデル授業を全校児童の前で行ってくれました。6月に入って今度は6年生が、授業の進め方についてのモデル授業を行ってくれました。算数科の授業の場面を取り上げ、自分達で学習を進めていくときに、どのようなことに気をつけるか、どんな聴き方や話し方をすればよいかを教えてくださいました。

授業を進めていく中で、大切なことをキーワードにして示し、解説を加えて見ている人達が分かるように工夫してくれました。大きな声で、堂々とした態度でモデル授業を進めてくれる6年生を見て、本当に頼もしく思いました。全校でこのような授業ができるようになると、東陵小学校がさらにレベルアップするだろうと思います。全校で頑張っていきたいですね。



子ども達の姿あれこれ・・・



6月2日に全校集会がありました。4年生と5年生が発表しました。4年生は自分達で考えた漢字のクイズをしました。5年生は詩の音読と、合奏をしました。みんな一生懸命発表できました。

今年から3, 4年生で外国語活動を行います。ALTのキンバリー先生に自己紹介をしているところです。



6月13日に中海小学校で器械運動競技会がありました。中海小、国府小、東陵小の3校が集まりました。5, 6年生が全員参加して、跳び箱・マット・鉄棒の演技をしました。演技前は少し緊張した様子でしたが、みんな立派に演技できました。自分の学校だけでなく、他校の演技に対しても拍手をおくっていました。3校のよい交流の場になったと思います。